

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

日本の成長を支えるキャピタルグループを目指し、中長期的な企業価値および株主価値向上に邁進

時価総額
1,000億円

② 中長期の経営戦略

1. 積極的な投資活動と

自己投資事業・PIPEs事業・ファンド事業を通じ、地域金融機関・地方自治体・パートナー企業とのネットワークをフル活用して投資を実行

3. ファンド規模・領域拡大

1本あたりのファンド規模を増大させ、投資先社数と人員規模の整合を図りつつ投資領域を拡大

2. シナジー効果の追求

投資先企業同士の顧客相互紹介、AIソリューション提供、新規サービス開発などで企業価値向上を実現

4. 暗号資産事業の拡大

AIと並ぶデジタル社会のテクノロジーとしてのブロックチェーン優位性を認識し、中長期的に継続蓄積を推進

③ 対処すべき課題

① 投資案件情報の充実

- ・地域金融機関・地方自治体・パートナー企業とのネットワークをフル活用して情報源充実
- ・複数の投資手段の柔軟性を活かした積極的投資の実行

② シナジー効果実現の仕組み構築

- ・投資先企業間の情報共有インフラ整備
- ・顧客相互紹介から新規商品開発まで多角的なシナジー追求体制の構築

③ 暗号資産のリスク管理

- ・価格ボラティリティ、ハッキング、不正アクセスなどの潜在的リスクを正しく管理
- ・株主への説明充実とノウハウ蓄積、将来的なファンド組成への対応

面接で使えるポイント

- ・2024年10月29日の中期経営計画『AI革命1.0』で、AIを軸とした4つの事業ドメインを展開しグループシナジーを創出
- ・2028年3月期に時価総額1,000億円という目標達成を通じて『日本の成長を支えるキャピタルグループ』の地位確立を目指す
- ・暗号資産をAIと並ぶデジタル社会の二大テクノロジーと位置付け、中長期的な優位性を見据えた投資・ファンド組成を推進

証券コード 254A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
33億円営業利益率
▲42.1%財務健康度
81点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 50.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
724万円

証券、商品先物取引業内 30位/36社

平均年齢
46.8歳

証券、商品先物取引業内 7位/36社

平均勤続
0.8年

証券、商品先物取引業内 36位/36社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: A I フュージョンキャピタルグループ(株)【254A】：決算情

